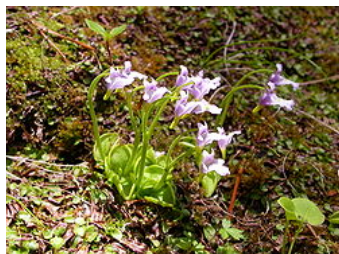


会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2015年 1月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2015年 1月1日発行 通巻261(毎月1回発行)

千葉県連盟の総力を結集し

50周年事業を成功させよう

1月号目次

・目次	2
・年頭あいさつ	3
・12月理事会報告	6
・リレーエッセイ	佐川 美枝子 7
・会・クラブ紹介「ちば山の会」	斎藤 一郎 8
・ワンコイン案内	9
・著書案内	10
・県連たより	11
・1月・2月予定表	12

表紙説明

永年、掲載していただいた「花博士の花便り」（中原 紀代治投稿）に変わって、会・クラブ紹介を連載します。

第1回は、ちば山の会にお願いをしました。

ちば山の会は、幅広いジャンルで山行を楽しんでいます。いくつかの山行写真をまとめて表紙にしました。

山行の記録・写真は、ちば山の会のホームページをご覧ください。

掲載順番は、以下の通りです。ご協力をお願いします。

◆ 前半6月までの当番です。

1月	ちば山の会	2月	君津ケルン山の会	3月	茂原道標山の会
4月	船橋勤労者山の会	5月	まつど山の会	6月	東葛山の会

◆ 送り先：Eメール danphiro@zpost.plala.or.jp

◆ 締切り 毎月 28日を目安にお願いします。

新年のご挨拶

理事長 吉田 哲治（船橋勤労者山の会）

新年あけましておめでとうございます。

関東は穏やかな新年を迎えましたが、山岳では荒天が続き残念ながら年明け早々事故が多く報道されています。事故の詳細はまだ分かりませんが、冬山に入るには周知な準備と確かな技術が求められます。それらを習得した上で、それぞれの雪山を楽しんで欲しいと思います。

さて、昨年は自然災害が多く発生した年でした。特に、御嶽山の大噴火にはただただ驚くばかりでした。ちょうどこの噴火のときは沢登りに行っている時で、帰りに寄ったお蕎麦屋さんで観たテレビの画像には圧倒されました。沢に一緒に行った仲間とは、時季的にも時間的にも多くの登山者が登っている頃だから被害が大きくなるのではないかと話していましたが、予想よりもはるかに多くの登山者が犠牲になってしまいました。ご冥福をお祈り申し上げます。

この御嶽山の災害が契機となったわけではありませんが、北アルプス（岐阜県側）では登山届が昨年 12 月より条例により義務化されました。これまでも谷川岳や剣岳に同様な条例がありましたが、これらは一ノ倉等のバリエーションを登るクライマーを対象としたものでした。言わば相当な危険な行為を伴う一部の登山者のみを対象としたものでした。しかしながら、今回は一般の登山者も対象となります。これは今後も全国的な流れになっていくものと思われます。事故が起これば真っ先にお世話になり迷惑をかけるのが地元であることから、登山届を義務付けるのはある意味仕方のないことかもしれません。私自身、谷川岳や越後の沢で事故を起こして地元の救助隊に大変お世話になった経験もありますので、尚理解できることもあります。しかしながら、自由な発想のもと自由な行為である登山において、行政がその届けを義務付けるということはどうあるべきか、山岳団体においてはこの流れを注視していく必要があると思います。

災害といえば、今年で 4 年目になる東日本大震災です。ちば労山ゆうは石巻や福島で災害支援の活動を続けてきました。ゆうの活動に対してこれまでにご支援とご協力をいただき、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

昨年は房総のスイセンを石巻に植えるという活動を始めました。会員の方より提供いただいたり、鋸南町で仕入れた球根約 100kg を門脇小学校、本間家土蔵、牡鹿・谷川浜の洞福寺に植えさせてもらいました。その中で、昨年の 12 月には本間家土蔵前の花壇に植えたスイセンが可憐な花を付けていました。時期的に早くもあり、とても驚いたのですが、石巻の寒さに負けずに咲いてくれた花に感動しました。洞福寺にはのり面に多くのスイセンがすくすくと育っています。来春にはそこにどのような光景が広がっているのか、今から楽しみにしています。

本年もよろしくお願いします

会長 広木 国昭（ちば山の会）

新しい年を迎えました。

本年も、よろしくお願いします。

昨年、全国的には重大事故が多発しました。千葉県連は、事故数は減少しましたが、一步間違えば重大事故になると思われる事故がありました。

千葉県連は、ハイキング層が圧倒的に多く、ハイキングならではの事故が発生しています。小さな事故、うっかり事故だからと軽視せず、事故例に学び同種事故を起こさない取り組みが重要です。楽しかった山行報告の中に、ヒヤリハットの報告もしていただきたい。

いつまでも楽しく山行を続けるために、正しいトレーニングを身につけ、継続するために、千葉県連では、「事故防止交流集会」（教遭委員会主催）「ワンコイン講習会」（女性委員会主催）などを実施しています。積極的に参加して下さい。

2016年の千葉県連「創立50周年」にむけて、実行委員会がスタートしました。実質的な活動は、2015年から始まります。全会・クラブの参加で「創立50周年」を祝い、新たな出発の節目にしたいと思います。

全会員の参加協力をおねがいします。

年頭ご挨拶

副理事長 鶴田 秀雄（ちば山の会）

明けましておめでとうございます。

昨年、日本列島は多くの自然災害に見舞われ、この列島を取り巻く自然条件が大変厳しいものであること、そしてそれが故に日本の自然が美しく変化にとんでいることを再認識させられました。今年もまた山という自然を安全に、心行くまで楽しみたいと思います。

さて、今年は千葉県連50周年記念行事の実質的スタートの年です。記念行事はできるだけ多くの人に参加することで、その意義が増すことは言うを待ちません。房総の山50峰登山は特にその感が深いと思います。私の所属会のちば山の会も千葉県連と同じときに50周年を迎えます。対象とする地域と山は異なりますが記念山行行事が検討されていて全員参加を目標としています。どちらも全員参加を目指して、事前の情報発信や楽しいイベントの盛り込みなどに工夫して盛り上げていきたいと思っています。50周年が千葉県連800名が、横のつながりを深くし一体感を感じるまたとない機会になるよう、微力ではありますが全力を尽くす所存です。

私個人の山にかける今年の目標は、ここ数年思いだけで実現していないいくつかの山スキーコースと沢登りコースのうち一つでも二つでも実現させることです。でも、強力な助っ人なしではできそうもなく他力本願になってしまいそうです。それも致し方のない事かも知れません。

明けましたおめでとうございます。

桑原 年一 (ハイキング委員長・松戸山の会)

念頭に際して、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

私、県連に関係して早や17年、ハイキング委員長を引き受けてからも12年になります。その間「松戸山の会」の理事も兼任して6年勤めました。

ただ、ハイキング委員長だけは「前任が死ぬまで勤めたので、私も死ぬまでやります」なんて豪語したのが運のつきで、現在に至っています。家内及び諸先輩からは「もういい加減にして、後任に譲るべきだ」、と何度も言われ続けています。私としても高齢で、物忘れがひどくなり、この辺が潮時かな、なんて考える様になりました。

人間、年は取りたくありませんが、こればかりは致し方ありません。ですが私本人はまだまだと思っています。新年早々弱音を吐く事は良くありません、もう一年は頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

教育遭難対策委員長 岡田 賢一

県連の皆様

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

振り返れば、昨年は従来の「谷川岳マチガ沢雪技講習」「事故防止経験交流集会」に加え、新たに「三つ峠初級登山実技講習」に取り組み、相応の活動を行う事が出来たと思います。そして、年末の理事会懇親会では、熟年の理事各位の「死ぬまで現役！」という熱い志に叱咤激励され、更に皆さんと頑張っていきたい所存です。 ので、今後も各種講習会等に参加頂き、安心・安全な山行を展開しましょう。

自然保護委員長 菅井 修

県連の皆様 明けましておめでとうございます。

日頃の山行でも自然保護に関心を持って取り組んで下さりありがとうございます。今年も継続してクリーンハイク等を行っていきたいと思います。よろしくお願いします。

千葉県連は、豊かな山の自然を大事にし、守っていこうという自然保護運動の一環として、山の豊かな自然を残そうというクリーンハイクの他に、千葉県内のいくつかの無謀な開発計画中止運動に関わり大きな役割を果たしてきました。これらの運動を振り返り、今後の自然保護運動の指針となることを考え、今までの自然保護運動の中心として活動した人々を招き、2015年11月7日(土) 船橋「きららホール」において160人規模の講演・シンポジウムを開く計画です。なかなか聞けない貴重な話が聞けるのでは無いかと期待しています。県連の皆様、是非参加することを期待しまし。

2014年度第9回理事会報告

■開催日時:12月18日(木)19:00～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:茂原、松戸、東葛、ふわく、市川、シリウス、かがりび、民医連、自然保護、教遭、ハイキング、会長、理事長、副理事長、会計(山翠会理事兼任)、以上15名

■配布資料

- ・事故防止・経験交流集会の報告(案)
- ・14年事故報告
- ・北アルプス(岐阜県側)山岳遭難防止条例リーフレット
- ・第8回ワンコイン講習会案内

■議題

1. 委員会・救助隊報告

*教育遭難対策委員会(岡田)

1)事故報告 岳人倶楽部

2)14年事故防止経験交流集会報告

- ・11団体78名参加
- ・テーマの一つ「各会内での山行把握・管理法」は焦点が定まらない結果となり改善要す
- ・筋トレ実技は良い機会提供になった

3) 北アルプス(岐阜県側)山岳遭難防止条例について

- ・12月から実施されているので各会において周知徹底のこと

4)15年雪上技術講習

- ・4/4(土)予定
- ・主管は救助隊へ願いたい

*ハイキング委員会(桑原)

- ・ロングハイク募集中(12/25 締切り)→東葛地区は中型バス満車につき大型へ変更検討中

- ・東大演習林は倒木有り、コース変更

*自然保護(菅井)

1)自然保護セミナー

- ・きららホール(船橋フェイスビル)にて実施予定

- ・日程は15/11/7(土)で調整

2)15年クリーンハイク

- ・日程は5月頃、場所は鬼泪山の予定

*女性(広木)

- ・ワンコイン講習、15/2/1(日)実施するので参加を呼びかけて欲しい

2. 災害支援報告(吉田)

- ・12/6,7で10名参加

- ・6日は南相馬市小高地区で竹林の伐採等の作業、7日は牡鹿・谷川浜へ移動しホヤの作業

- ・7月に門脇地区に植えた水仙球根に花が咲いていたのは感動

3. ちばニュース(広木)

- ・3年に亘った中原さんの「花博士の花便り」は12月号で終了、1月号より各会紹介のコーナーを設けるので協力願いたい→第1回目はちば山

4. HP(広木)

- ・県連HPを刷新したので、各コーナーを順次掲載していく

5. その他

- ・松戸岳人倶楽部はメンバーのほとんどが都内在住のことから、都連へ移籍する
- ・会員数報告がまだの会は至急吉田まで上げて欲しい

■今後の理事会日程について

- ・1月15日(木) 場所:西部公民館
時間:19時より

ダイヤモンド富士を見る為に七面山登山に参る

佐川 美枝子（ハイキング委員・松戸山の会）

9月22日（月）表登山口まで車2台（7人）で行きました。

春木川にかかった羽衣橋の下に白糸の滝が落ちている。徳川家康の側室お万の方が滝に打たれ精進、ようやく女人禁制が解かれるようになったと云う。

敬慎院は日蓮上人の弟子、日朗上人が永仁5年（1297年）今から700年に開いたと云う。

この寺は信者以外の人でも宿泊する事が出来る。

登山道はジグザグの石段で1丁目～50丁目迄あり、それぞれ法華經の經文を刻んだ石の柱が置かれてありました。

夕食後本堂で信者や修行僧と共にお経を唱える。部屋にはロール状の一枚の敷き布団が敷かれ、掛け布団も同様、そこに7人で寝ました。

翌日、彼岸の中日（9月23日）御来迎場まで行く。大勢の信者が經文を唱える中、太陽が富士山の真上に顔を出し素晴らしいダイヤモンド富士を眺める事が出来、大変すがすがしい気持ちになりました。

その後、七面山に登り、裏山道を下りました。今年心に残った登山でした。

千葉県連創立50周年事業について

50周年事業については、各会・クラブのご協力をいただき、県連理事・会・クラブの代表で、実行委員会を立ち上げました。

事業内容については、3回の実行委員会でその大綱が確認され、2月5日の会代表者・県連理事の合同会議において最終決定の予定です。

予定されている事業の中には、2015年に実施される事業もあります。早急に決定し、会員の皆様にお知らせし、参加・協力をお願いをしたいと思います。

事業の一例として、記念登山の概要を紹介します。

海外ハイキングの概要について

- ① 日程 2015年9月～2016年6月の4～7日間
- ② 目的地 バリ島サンライズトレッキング（バトツール山・アゲン山）
- ③ 参加人数 30名程度
- ④ 費用 20万円程度

詳細を決定し、代表者・県連理事合同会議で討議・決定して行く。

50周年事業に対する、ご意見、要望をお寄せください。

ちば山の会 紹介

斎藤 一郎(ちば山の会・県連理事)

ちば山の会が設立されたのは、1967年に「千葉勤労者山岳会」としてスタートし、同時に他の4団体と共に、「千葉県勤労者山岳連盟」を発足に参加しました。

その後1978年に「ちば山の会」と改名したが、創立時からの山への憧れを抱きながら「安く・楽しく・安全に」にをモットーに、諸先輩方から受けついで来た気概を失わず、重大無事故「0」で今日まで歩んで来ました。

50周年として迎える、2016年以降もこれを守って行きたいと考えています。これを実現するために、ちば山の会では以下のように取り組んでいます。

1、山行管理と安全登山

- A、 山行時には、事前に計画書の提出を義務付けし、内容（コース、装備等）を、管理体制グループで審査し指導を行うシステムを確立しました。
 - B、 管理体制は、ハイキングは基よりクライミング・雪山・山スキー・沢 登りと幅広いジャンルにそれぞれの指導リーダーを設け、グループの目を通しての管理で会員は安心して山行を行っています。
 - C、 山行計画書のシステムとして、計画の作成・提出はホームページの会員名簿と連動しており、会員メーリング・山行管理メーリングと合わせて実施されている。
- 上記のように、安全で楽しい山行を行うための管理・指導体制を確立して、全会員が実施している。

創立から半世紀、重大事故が無いことを「ちば山の会」の誇りとして、新しい会員と共に、新たな目標を確立して60周年、70周年と歩んで行けたらと思います。

2、新しい会員を迎えるための取り組み

- A、 入会希望者のほとんどはホームページからの入会であり、これは老若男女ともに昨今では情報を得やすくするための『道具』なのであろう。
ホームページは広報部を中心とした管理体制で実施している。
- B、 入会問い合わせに対しては、専任者（組織部）が対応し入会後の 活動に関してもフォローしている。

総会・定例会等で、新しい会員を迎える事の大切な事について話し合い、会を挙げて取り組んでいます。その結果、2014年11月末会員数は、100名を超えました。年代は20代から70代となり、爺、婆と、孫が仲良く山行をしているようです。

3、2016年の創立50周年にむけて。

ちば山の会の総力を結集し、全会員が参加して「50周年を祝う」企画を進めています。千葉県連と同時進行となりますが、お互いに協力して、ちば山の会に入会して良かったと、実感できる内容にしたいと思います。



第8回ワンコイン講習会

主催 千葉県連盟女性委員会

毎度おなじみの

体に優しい トレーニング

楽しく学ぶ・正しく学ぶ

実施日 2015年 2月 1日(日) 13時~16時
場 所 船橋市西部公民館・体育レクリエーション室(2F)
(JR総武線下総中山駅下車)
参加費 ワンコイン(500円)
講 師 荒井 美穂 先生

問い合わせ先:千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ事務局への問い合わせまで

講 師 紹 介

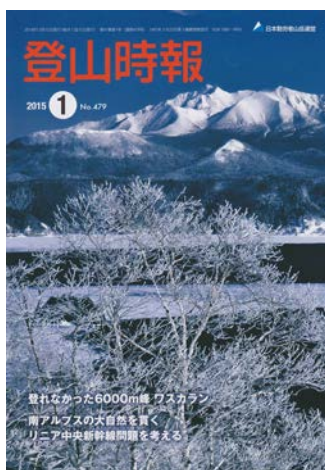
- ・最新のトレーニング法で、初心者からアスリートまで、幅広く指導しています。
- ・障害者・高齢者 機能回復トレーニング講師。
- ・企業の健康管理アドバイザー。
- ・個々の悩み、希望に親切、ていねいに応えてくれます。
- ・第7回ワンコイン講習会・事故防止交流集会 などでお馴染みです。

ワンコイン講習会とは

女性委員会では、いつまでも山に行ける体力を維持するために
「楽しく学ぶ・正しく学ぶ」をテーマに実技講習を行なっています。
毎回、好評の講習会です。
大勢の参加をお待ちしています。特に男性の参加を歓迎します。

ご 案 内

登山時報



定価：310円

年間購読は割引あり

内容は、大変バラエティーに富んでいます。連載も多く山行紹介・気象講座など読みごたえがあります。連載中の「私の登山ワタシと登山・どんな山がやりたいんだ」は好評です。全国連盟副会長の洞井孝雄氏の豊富な登山経験と知識が勉強になります。

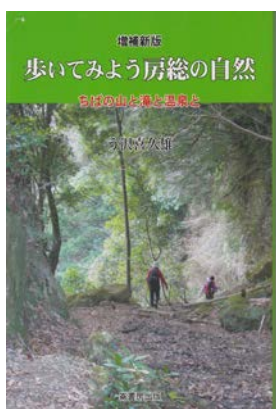
中には、連載意図が今一理解できない記事もありますが、これは個人の感覚かも知れません。

深刻なのは、財政的に赤字発行が続いている事です。団体の機関誌としての役目もありますが、財政的に独立できる内容と運営が望まれます。

登山時報の健全財政に、会員の皆様のご協力をお願いします。

購読申し込みは会代表者・県連理事まで

歩いてみよう房総の自然



定価：1300円

うざわ喜久雄著（元千葉県連盟 自然保護委員長）
（ふわくハイキングサークル会長）

うざわさんについては改めて紹介する必要はないと思います。房総の素晴らしい自然を守る、先頭に立って活動していただきました。

今、千葉県連では「50周年事業」に取り組んでいます。その大きなイベントに「自然保護シンポジウム」を実施します。これは、うざわさんの経験にたよるものです。50周年にちなんで、房総の山トップ50に登る企画も進めています。この企画のガイドブックとして、本書をお薦めします。

購読申し込みは：県連盟 広木まで

danphiro@zpost.plala.or.jp

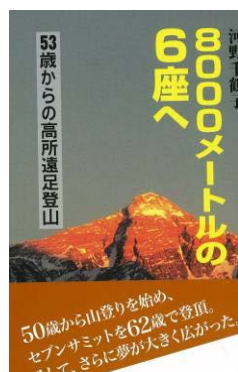


1500円

栃木県内の山のガイドブックの優れものです。山域別にまとめられ、交通・歩行時間・コースタイム・地形図・アドバイス等が役立ちます。

地元・宇都宮ハイキングクラブの自信作。

在庫多数（広木まで）



1300円

河野 千鶴子 著

50歳から登山を始め、
7大陸最高峰登頂、8000m峰5座登頂

本書編集集中に、ダウラギリ（ネパール）登山中に死亡。突然登山に取りつかれた、叔母ちゃんの生き様を読んで下さい。

在庫多数（広木まで）

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 千葉労山事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまで
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。

- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
常時入会出来ます。
・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
- ◎ 支援活動について
1月・2月は、お休みします。
3月より実施します。
- ◎ 支援物資販売活動について
皆様の、ご協力により大きな成果
がありました。
引き続きご協力をお願いします。
三陸・気仙沼直送の支援物資は
「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」
「くきわかめ」「すき昆布」
「とろろこんぶ」
常時在庫あります。
牡鹿半島の「塩蔵わかめ」も
支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！

広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
090-8316-2020

県 連 活 動 予 定 表

1月		行事予定	2月		行事予定
1	木		1	日	ワンコイン講習会
2	金		2	月	
3	土		3	火	役員会
4	日		4	水	
5	月		5	木	
6	火	役員会	6	金	
7	水		7	土	
8	木		8	日	
9	金		9	月	
10	土		10	火	
11	日		11	水	
12	月		12	木	
13	火	ハイキング委員会	13	金	
14	水		14	土	
15	木	理事会	15	日	代表者・理事合同会議
16	金		16	月	
17	土		17	火	
18	日		18	水	
19	月	女性委員会	19	木	理事会
20	火	教育遭難委員会	20	金	
21	水		21	土	全国評議会
22	木	創立50周年事業実行委員会	22	日	〃
23	金		23	月	
24	土	房総ロングハイク	24	火	
25	日	〃	25	水	
26	月		26	木	組織委員会
27	火		27	金	
28	水		28	土	
29	木	組織委員会	29	日	
30	金				
31	土				

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190（事務所に常駐者はいません）

発行責任者：吉田 哲治 編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ